

「私たちが描く持続可能な社会の未来図」とSDGs

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」(持続可能な開発目標 SDGs)が 2015 年 9 月、国連において全会一致で採択されました。2030 年、私たちの住む地域、社会、そして世界はどのようになってほしいと思いますか？ 貧困や差別がない社会、戦争のない世界、環境にやさしい社会、防災減災に取り組むまちづくり、ジェンダーの平等、質の高い教育、そして、誰もが自分らしく幸せに暮らせる社会。私たち若い世代が、その未来図を描き、その実現に向けて、行動に移します。ワンフ

ェスユースは、そうした未来図と一緒に描く若い世代が集まり、学び、自らネットワークを作り、そして未来に向けたアクションにつなげていくための場です。

高校生の発意によってはじまったワンフェスユースは、世界の未来を形づくる一員であることを実感することができる取り組みです。一日かぎりのイベントではなく、持続可能な社会の扉を自分たちで開くための最初の一步、みなさんもこのユニークな活動に参加してみませんか？

ワンフェスユース2019のプログラム

全部で25のプログラム
延べ6,000人が
参加しました！



ブースエリア

高校生を中心に、NGO、企業、大学、国際機関などの活動を紹介し、各ブースで直接話が聞ける貴重な機会です。最も多くの人が集まります。



高校生のためのポスターセッション

今年は 88 のチームから募集があり、選考されたファイナリスト、セミファイナリスト & 応援枠が集合して研究やアイデアの成果を発表・共有します。



高校生のための国際協力 助成プログラムコンペティション大会

国際協力・SDGs 実現のためのプロジェクトを企画します。その結果、今年は 16 のチームから 2 チームのプロジェクトが採択されました！



ワークショップとセミナー

高校、大学、NGO/NPO、企業などが 18 のプログラムを実施。ジェンダー、多様性、人権など多様なテーマのプログラムが開催されました。



開会式と閉会式

高校生実行委員会が企画した開会式は大盛況。閉会式は「未来のはじまり」をテーマに来場者にメッセージを伝えました。朝日新聞社からは特別号外が！



カフェ・ワンワールド

10 階では、様々な国の料理やフェアトレードコーヒーを販売。食からも世界を感じることができるエリアです。来年は「脱プラスチック」の販売方法も考えます。

ワンフェスユースをつくる高校生たち

ワンフェスユースは、一人の高校生の熱意とそれに賛同した高校生たちによって生まれたユースの取り組みです

高校生実行委員会ってなに？

ワンフェスユースのテーマを決め、教員や NGO の協力を得て、企画内容を固めていく委員会です。企画書の作成や講師への依頼、資金調達など、Skype や SNS のツールを駆使し部活動や受験と両立して準備を進めていきます。2019 年は関西圏の 11 の高校から 12 人の高校生が集まり、高校生実行委員会のプログラムとして、ケーススタディ「無関心に立ち向かおう！～紛争で武器になっている性暴力～」と「パラリンピック競技体験&クイズ」を企画・実施しました。また、ワンフェスユースのコンセプト、開会式や閉会式の進行も、この高校生実行委員会が務めます。



高校生ボランティアリーダーチーム

ボランティアリーダーチームは、延べ 6,000 人を超える来場者を迎えるにあたり、円滑にイベントが開催されるよう、約 200 人の当日ボランティアのコーディネーション、各エリアリーダーとして、当日の運営を引き受けます。高校生実行委員会とも連携し、過去に参加したユースOV会が高校生ボランティアリーダーを支え、高校生主体の SDGs イベントとして全力で運営を全うします。また、2019 年のボランティアリーダーの一部が OV会の一員となることで、ノウハウの継承も着実に進めています。2019 年は、7 の高校から、12 人の高校生がリーダーとして参加しました。



ワンフェスユース実行委員 関西学院千里国際高等部 3年 鈴木千花

今回、自分の企画が通って、準備の 3ヶ月間、周りの人に支えながらなんとかやり遂げる事ができました。準備は大変でしたが、当日にお越しいただいた方々や、プログラム中に講演を熱心に聞いたり、ケーススタディでグループディスカッションを熱心にして下さる方々を見て、そして終了後のアンケートを読み、この 3ヶ月間はこの為にあったのだと、とても嬉しかったです。

ボランティアリーダー 大阪府立佐野高等学校 2年 一ノ瀬裕斗

初めて仲間と会った時とても緊張してうまくやれるか不安でしたが、仲間と一緒に考え力を合わせてワンフェスユースを作ることができ、楽しく思いました。最後までボランティアリーダーとしてワンフェスユースを運営することができてよかったです。

ワンフェスユース実行委員 神戸龍谷高等学校 3年 地黄ありさ

気軽に SDGs について知ってもらい、持続可能な社会にするための広報を私たちができるということは大変光栄であり、勉強にもなりました。パラリンピック競技を楽しみながら、SDGs について共に考える機会が持て、より一層 SDGs について理解を深めることができました。また来年もこのような企画に携われたらと考えています。

ボランティアリーダー 桃山学院高等学校 1年 池田 有里菜

私は、人と関わることの大切さ、楽しさを学びました。普段、学校では出会えなかった、たくさんの人と関わることで、多くのことを知り、学び、また自らの考えを深めることができました。ありがとうございました！